

# 2025年 第48週 11月24日～11月30日

## 西多摩保健所感染症週報

東京都西多摩保健所  
Tel 0428-22-6141

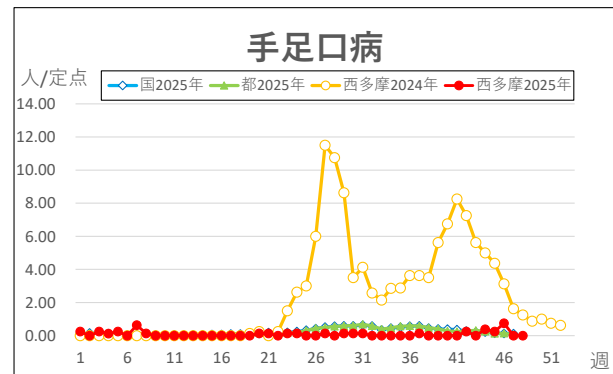
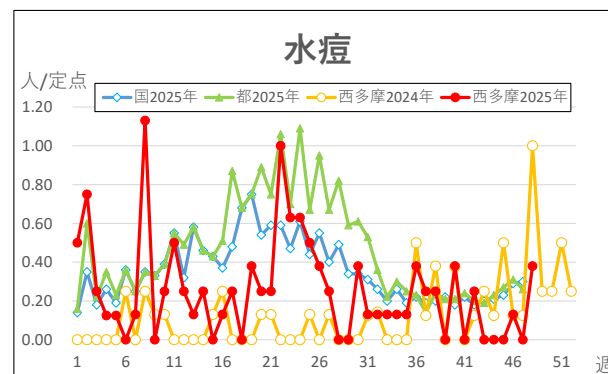
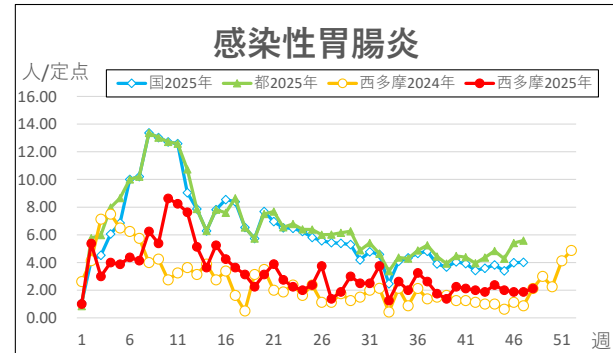
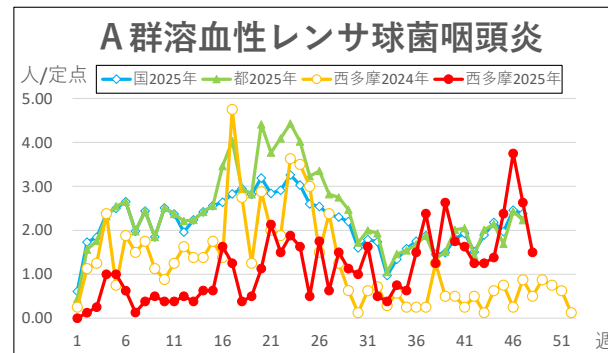
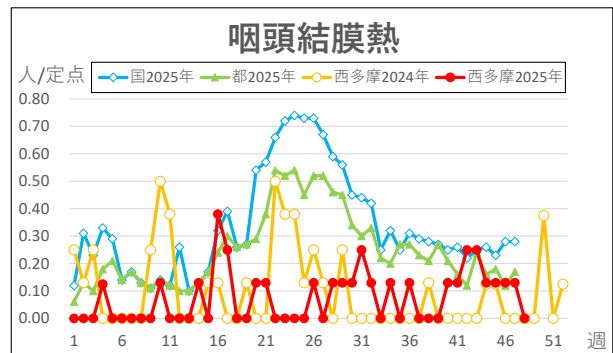
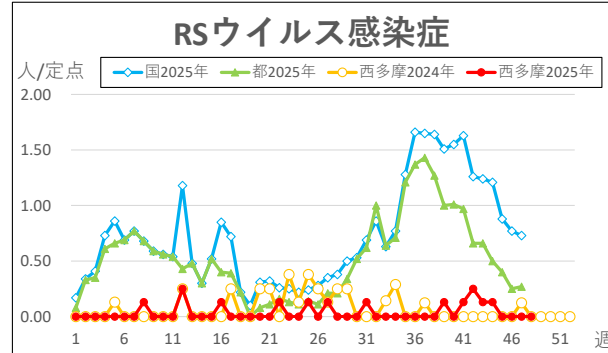
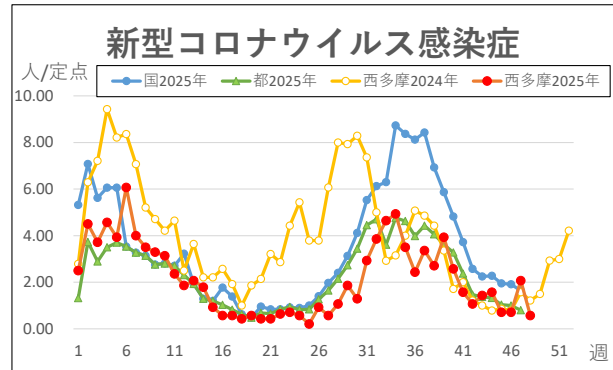
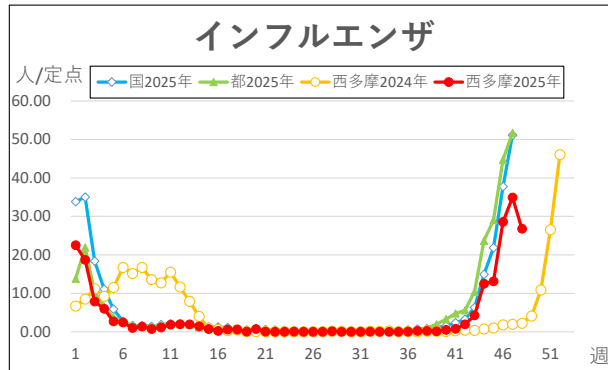


### \*管内の発生動向及び定点把握対象疾患\* ( )は内訳又は前週値

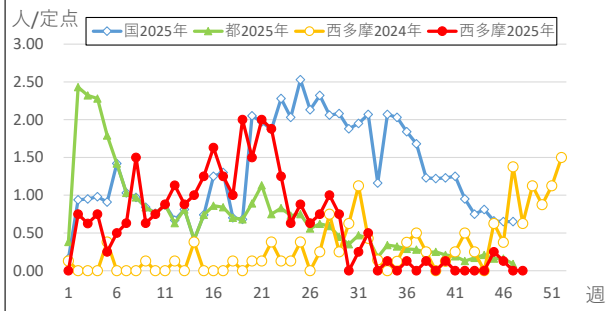
- ・全数届出の疾患は、百日咳4件（男性1件 女性3件、0歳1件 10代2件 30代1件）の報告がありました。
- ・定点報告は、感染性胃腸炎2.13（1.88）、水痘0.38（0.00）、ヘルパンギーナ0.13（0.00）、マイコプラズマ肺炎5.00（2.00）、急性呼吸器感染症（ARI）49.43（48.07）で、前週より増加しています。

### \*管内の感染症集団発生状況\* ( )は内訳

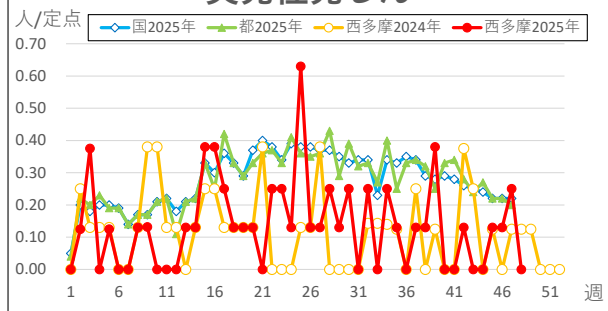
- ・インフルエンザ17件（保育所14件、高齢者入所施設3件）、新型コロナウイルス感染症1件（高齢者入所施設）、疥癬1件（高齢者入所施設）の報告がありました。



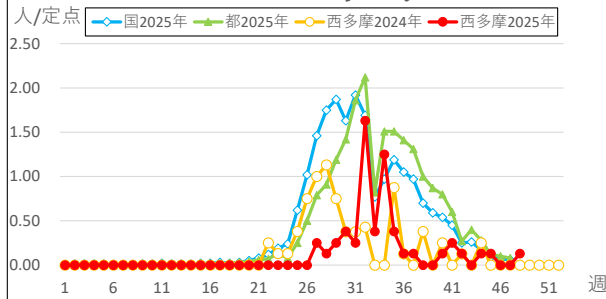
### 伝染性紅斑



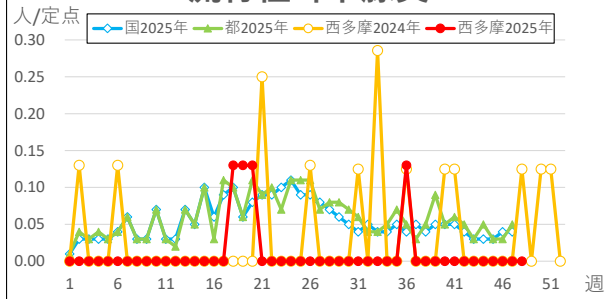
### 突発性発しん



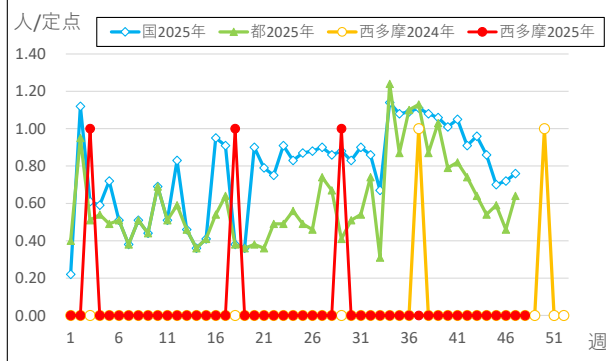
### ヘルパンギーナ



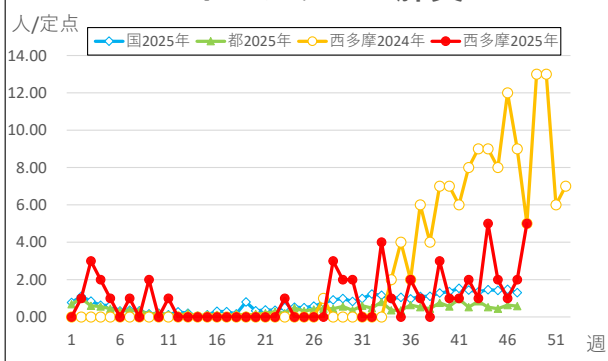
### 流行性耳下腺炎



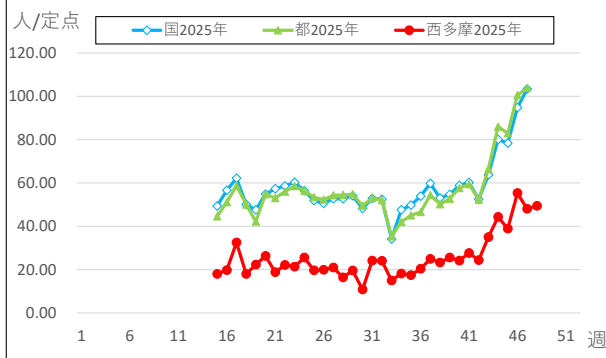
### 流行性角結膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### 急性呼吸器感染症（ARI）



## \* 今週のトピックス \*

現在、西多摩保健所管内で発生はありませんが、時々都内で報告があります。年末年始は帰省や旅行など人の移動があるので、感染予防を心がけましょう。

### ～ 麻疹 ～

#### どのような病気ですか？

感染力が極めて高く、麻疹に対する免疫を持っていない人が、感染している人に接するとほぼ100%感染します。約10～12日間の潜伏期間の後、38℃程度の発熱及び風邪症状が2～4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発疹が出現します。おもな症状は発熱、発疹の他、咳、鼻水、目の充血などです。合併症として、肺炎、中耳炎、稀に脳炎、失明があり、肺炎や脳炎は重症化すると死亡することもあります。特別な治療は無く、対症療法が行われます。一度感染して発症すると、生涯免疫が持続すると言われています。

#### どのようにうつりますか？

ウイルスによる感染症です。空気感染が主たる感染経路ですが、飛沫感染、接触感染もあります。

#### どのように予防できますか？

有効な予防法は、ワクチン接種です。定期接種は、麻疹・風疹混合ワクチン（MRワクチン）を1期（1歳の1年間）と2期（5歳から7歳未満で小学校就学前1年間）の期間に2回接種です。

### ～ 気を付けましょう ～

#### ① 海外へ行く前に

麻疹の予防接種履歴を母子手帳等で確認しましょう。定期予防接種を受けていない方は、接種を検討ください。

#### ② 帰国後2週間は

発熱や全身の発疹、咳、鼻水、目の充血などの症状に注意しましょう。

ただし、予防接種をしている場合は症状が軽い場合もあります。

※東京都感染症情報センター「麻疹の流行状況」

<https://idsc.tniph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/measles/measles/>

※厚生労働省「麻疹について」

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html)



### ～ 感染性胃腸炎 ～

#### どのような病気ですか？

毎年、秋から冬にかけて流行します。細菌やウイルス等の病原体による感染症です。潜伏期間は1～3日程度です。

ノロウイルスによる胃腸炎は、主な症状は吐き気、下痢、発熱、腹痛で、小児では嘔吐、成人では下痢が多いです。有症状の期間は平均24～48時間です。ロタウイルスによる胃腸炎では、嘔吐、下痢、発熱がみられ、乳児ではけいれんを起こすこともあります。有症状の期間は5～6日です。

特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法が行われます。感染しても発症しない場合や、軽い風邪のような症状の場合もあります。

#### どのようにうつりますか？

病原体が付着した手で口に触れることによる感染（飛沫感染）と、汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。

例年多くなってくる時期です。感染予防を心がけましょう。

### ～ 感染予防のために家庭でできること ～

#### ① こまめな手洗い・消毒

調理、食事の前、トイレの後には、石けんと流水で十分に手洗いをしましょう。また、便や嘔吐物は使い捨て手袋、マスク等を着用して処理し、次亜塩素酸ナトリウムで消毒しましょう。

#### ② 食品の加熱・調理

食品を十分に加熱し、特に二枚貝などは中心部まで十分に加熱しましょう。野菜等の生鮮食品は水道水でよく洗いましょう。

※東京都感染症情報センター「感染性胃腸炎の流行状況」

<https://idsc.tniph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/gastro/gastro/>

※東京都「家庭でできるノロウイルス対策」

[https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/pamphlet2/files/noro\\_tomin.pdf](https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/pamphlet2/files/noro_tomin.pdf)



直近8週間の西多摩保健所管内定点医療機関報告数

	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	1週目からの累計
インフルエンザ	11	27	60	175	184	400	489	375	2,605
新型コロナウイルス感染症	22	15	20	22	10	10	29	8	1,369
RSウイルス感染症	1	2	1	1	0	0	0	0	14
咽頭結膜熱	1	2	2	1	1	1	1	0	28
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	10	10	11	19	30	21	12	429
感染性胃腸炎	17	16	15	19	16	15	15	17	1,233
水痘（みずぼうそう）	0	2	0	0	0	1	0	3	93
手足口病	0	2	0	3	2	6	0	0	34
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	0	0	237
突発性発しん	0	1	0	0	1	1	2	0	50
ヘルパンギーナ	2	1	0	1	1	0	0	1	39
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0	0	0	0	0	0	0	0	4
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	3
マイコプラズマ肺炎	1	2	1	5	2	1	2	5	50
急性呼吸器感染症（ARI）	388	342	490	621	545	774	672	692	12,577

急性呼吸器感染症（ARI）は15週目からの累計

○グラフは、5類定点把握対象疾患についての推移を表しています。グラフ縦軸の目盛は定点あたりの患者報告数です。

○管内定点医療機関数は、小児科定点8、内科定点6、眼科定点1、基幹定点1となっています。

○毎週の患者報告数は、管内の定点医療機関から毎週月曜日に報告を受け、週報として木曜日に発行いたします。

○データの出典元は、下記のとおりです。国及び都のデータは1週間遅れで掲載しております。

〈出典〉東京都、西多摩保健所のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

国のデータ：国立健康危機管理研究機構（JIHS） <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>